

2017年11月現在



**トヨタ 3T7**

**補修塗装工程**

**クロマックス® センタリ6000-600**

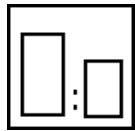
**ボカシ塗装**

# トヨタ 3T7 補修塗装工程

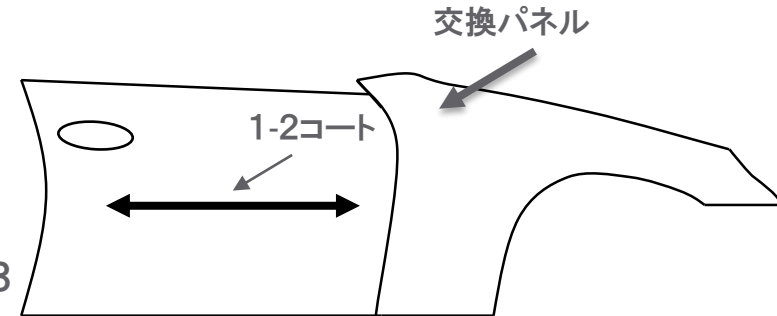
## クロマックス® センタリ6000・600 ベースコート 塗装



### ミッドコート塗装



クロマックス®ベースコート ミッドコート  
【6000】XB165:JAB/JXBシンナー = 2 : 1  
【600】AB160:JAB/JXBシンナー = 1 : 0.8



エア圧: 2バール 口径: 1.2-1.4mm  
ガン距離: 10-15cm パターン重ね: 70%  
隣接パネルのボカシ周辺にミッドコート1-2回ミディアムウエット塗装



コート間及び最終フラッシュタイム: 艶が消えるまで

### 注意:

- ・必要に応じてタッククロスでオーバーミストを丁寧に除去する

# トヨタ 3T7 補修塗装工程

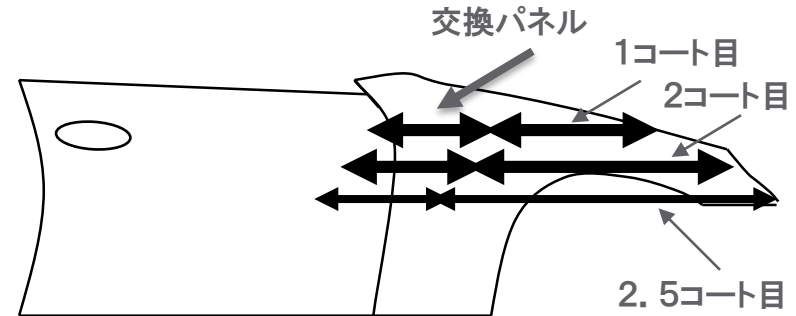
## クロマックス® センタリ6000・600 ベースコート 塗装



### カラーベース塗装



クロマックス®ベースコート 3T7カラーベース  
【6000】 JAB/JXBシンナー: 40-50%  
【600】 JAB/JXBシンナー: 80%



エア圧: 1.8-2バール 口径: 1.2-1.4mm  
ガン距離: 10-15cm パターン重ね: 70%  
交換パネル側から2.5コートボカシ塗装。各コートは前のコートより広げていく。



コート間及び最終フラッシュタイム: 艶が消えるまで

### 注意:

- ・色決め部分とボカシ際部分とで色差がある場合は、その箇所をエア圧を落としてライトコートで修正する
- ・必要に応じてタッククロスでオーバーミストを丁寧に除去する
- ・補修箇所は必ずバリューシェードシステムを使用
- ・必要に応じて、ミッドコート塗装前に隣接パネルをマスキング、交換パネルを色決め塗装後、ミッドコート、カラーベースボカシ塗装をする

# トヨタ 3T7 補修塗装工程

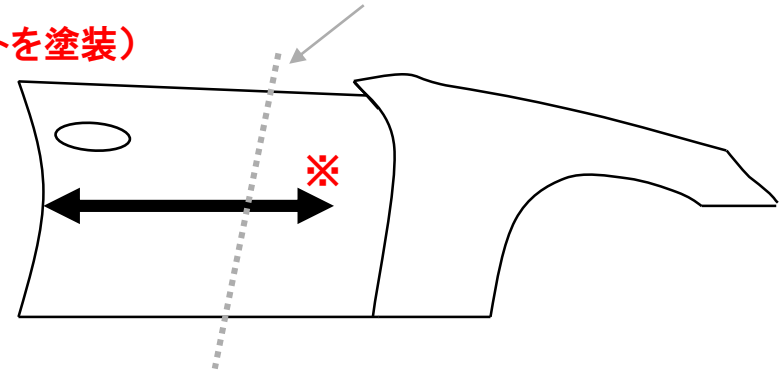
## クロマックス® センタリ6000・600 ベースコート 塗装



### クリアーコート塗装 ①

(カラークリアーコート塗装の前に通常のクリアーコートを塗装)

ベースコートボカシ際



クロマックス® クリアーコート  
混合比は各クリアーTDS参照



エア圧: 2バール 口径: 1.2-1.4mm  
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%  
ボカシ部分の外側からベースコートボカシ際を若干越えて1コートボカシ塗装



コート間フラッシュタイム: なし

### ※重要:

クリアーコート塗装はベースコートボカシ範囲を超えて均一に塗装し、次に塗装するカラークリアーの肌が平滑になるように注意する

# トヨタ 3T7 補修塗装工程

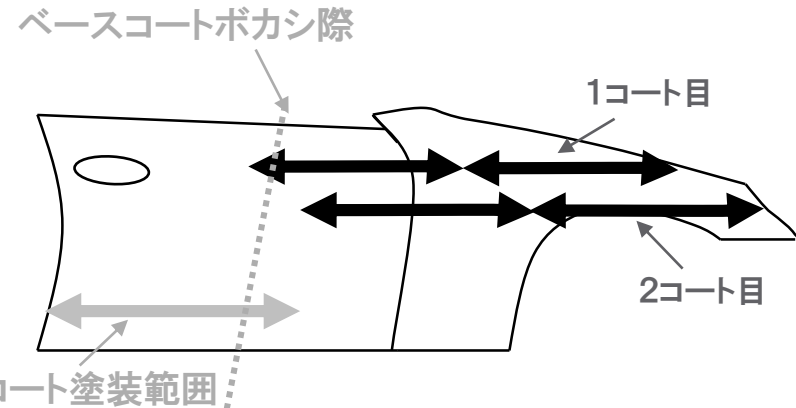
## クロマックス® センタリ6000・600 ベースコート 塗装



### カラークリヤーコート塗装 (カラークリヤーはクリヤーコートと同じクリヤー使用)



クロマックス® 3T7カラークリヤーコート  
混合比は各クリヤーTDS参照



エア圧: 2バール 口径: 1.2-1.4mm  
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%  
交換パネル側からベースコートボカシ際を若干越えて1コートボカシ塗装  
2コート目は1コート目の内側にボカシ塗装  
トリガーは常に握り ボカシ部に向けて弧を描くように塗装



コート間フラッシュタイム: 各クリヤーTDS参照

### 注意:

- ・カラークリヤーのムラが発生し易い為、ガン距離を余り近づけて塗装しない
- ・次に塗装するクリヤーコートの肌が平滑になるように、カラークリヤー2コート目塗装後のフラッシュタイムは取らない

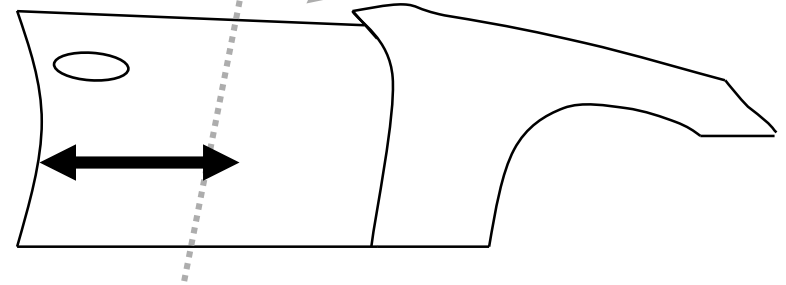
# トヨタ 3T7 補修塗装工程 クロマックス® センタリ6000・600 ベースコート 塗装



## クリヤーコート塗装②

(カラークリヤーのボカシ箇所をクリヤーにて均一に  
馴染ませ肌を平滑にする。)

カラークリヤーボカシ際



クロマックス® クリヤーコート  
混合比は各クリヤーTDS参照



エアー圧：2バール 口径：1.2-1.4mm  
ガン距離：15-20cm、パターン重ね：70%  
ボカシ部分の外側からカラークリヤーボカシ部を馴染ませる様に1コートボカシ塗装



最終フラッシュタイム：各クリヤーTDS参照



乾燥：  
各クリヤーのTDS参照

### 注意：

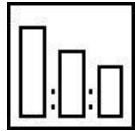
- ・カラークリヤーボカシ部と完全に馴染む範囲まで塗装する
- ・乾燥後は、P1500相当で軽くサンディングを行う事  
(カラークリヤー部の色味が変化する為、必要以上にサンディングしない事)

# トヨタ 3T7 補修塗装工程

## クロマックス® センタリ6000・600 ベースコート 塗装



### クリアーコート塗装（パネル全体に塗装）



クロマックス® クリアーコート  
混合比はクリアーTDS参照



エアー圧：2バール 口径：1.2-1.4mm  
ガン距離：15-20cm、パターン重ね：70%  
パネル全体に1コート塗装



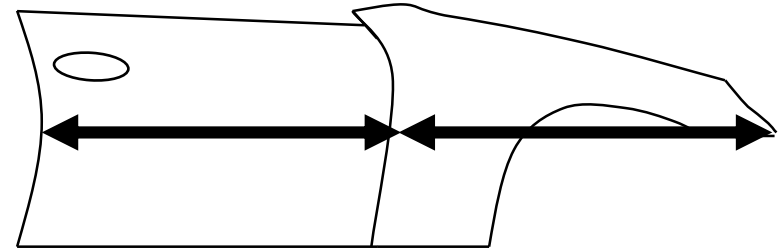
最終フラッシュタイム：TDS参照



乾燥：TDS参照

注意：

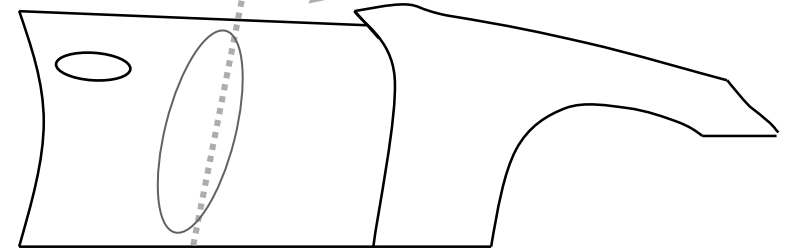
- ・最終フラッシュタイムは十分にとること



# トヨタ 3T7 補修塗装工程 クロマックス® センタリ6000・600 ベースコート 塗装



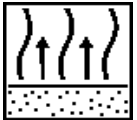
カラークリヤーボカシ際



## クリヤーコート塗装(オプション)



カラークリヤー塗装(2コート目)までは同じ手順。カラークリヤー2コート目塗装後、直ちにAK350をボカシ箇所へ軽く塗装を行いミストを馴染ませる。十分なフラッシュを取った後、クリヤーをミディアムウェットコートでパネル全体に塗装。



(注意)オプションのクリヤー塗装を行った場合、通常よりも膜厚が厚くなる為、フラッシュタイム・乾燥時間共に長く取る事。



乾燥:  
各クリヤーのTDS参照



# SHINE ON.

CROMAX IS AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

